

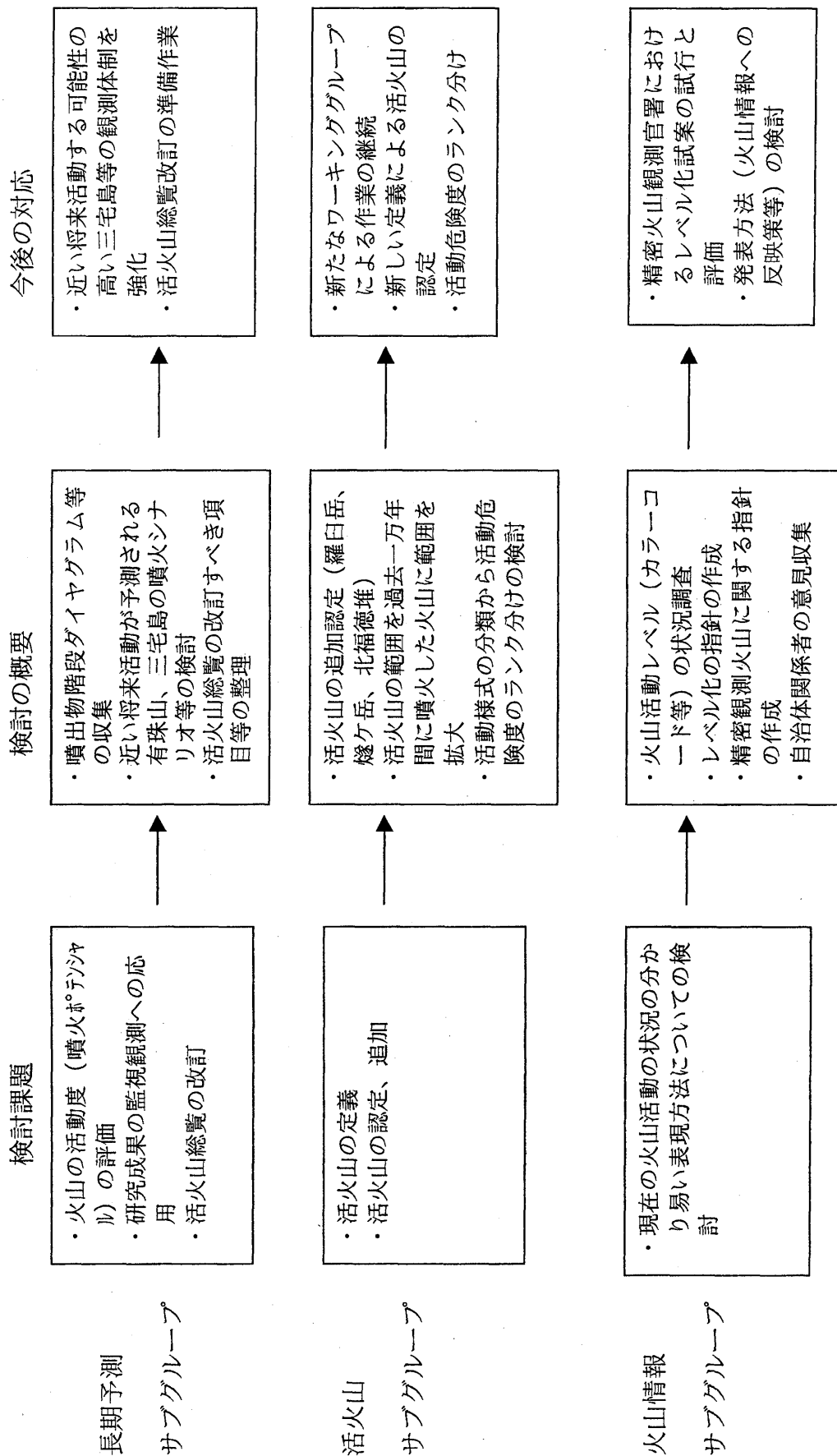
火山噴火予知連絡会ワーキンググループの報告について

1. 火山噴火予知連絡会においては、平成7年5月の同連絡会で「火山噴火の長期的な予測に関するワーキンググループ」を設置し、以下3つのグループに分けて検討を行うこととした。
 - ①長期予測サブグループ 噴火様式、活動の推移、及び活動度の検討
 - ②活火山サブグループ 活火山の認定に関する検討
 - ③火山情報サブグループ 火山情報のありかたの検討
2. 各グループにおいて検討した結果については、今回の連絡会に報告され了承された。

全体の検討の概要を別紙1、活火山サブグループにおける活火山の定義の見直し・危険度のランク付けなどに関する検討の経過を別紙2、及び火山情報サブグループにおける火山活動度のレベル化に関する一般的な指針を別紙3に示す。
3. 気象庁としては、今回の検討結果を踏まえ、火山業務の一層の充実・強化に努めることとしたい。

なお、本ワーキンググループはこれで終えることとし、来年度以降については連絡会で検討することとしている。

火山噴火予知連絡会ワーキンググループの検討結果



活火山サブグループの活動報告

平成 7 年度に活火山サブグループが発足して以来、10 年度末までの間に行った活動を要約すると次の通りである。

1. 活火山の追加認定

平成 2 年度に活火山の定義の見直しを行って以来、新たな情報も得られているので追加認定の検討を行い、平成 9 年 2 月に羅臼岳、燧ヶ岳、及び北福德堆を新たに活火山と認定した。

2. 活火山の定義の見直し

防災対応上噴火の不意打ちに合わないようするために見直しを行う。噴火類似現象（小規模な水蒸気爆発、火山ガスの放出）も含めて将来噴火の可能性のある火山を活火山としてとりあげる。将来噴火の可能性のある火山として、過去およそ 1 万年程度の間に噴火履歴のある火山を活火山とする。

3. 活火山の危険度のランク付け

活火山の危険度にランクを付ける趣旨は、日本の活火山の中で各火山が防災上どれほど重要なのかを判断する材料を示すことにある。ランクを付けることにより、観測を強化すべき火山やハザードマップを公表し防災対策を推進すべき火山の序列が明確になるであろう。活火山の危険度のランク付けを行う尺度として火山固有の要素群と社会的要素群がある。それぞれの要素について危険度の重さを定量的に評価してランクを付ける。

A. 火山固有の要素

A 1 過去の噴火履歴

過去 1 万年間の噴火履歴、噴出量累積階段図

A 2 現在の活動状況

火山性地震・微動の発生頻度、噴気温度、火山体および周辺の地殻変動、火山体周辺の地震活動（群発地震含む）、火山体周辺の地熱活動

A 3 地理的な条件

火口と湖水・海との距離、火口周辺の積雪量

B. 社会的要素

山麓の居住人口、観光客の入り込み数、道路、鉄道、航空路、その他の社会資本と災害予測域との関係

火山活動度のレベル化に関する一般的な指針（試行段階の案）

活動レベル	火山の状態	災害の危険性	監視観測体制
0（白）	静穏。長期間火山の活動の兆候なし	極めて低い	活動度の変化を把握
1（緑）	噴気があるか、最近群発地震などが発生	低い。火山ガス災害の可能性	活動度の変化を迅速に把握する常時監視
2（黄）	噴火の可能性を示す異常現象を検出	突発的な噴火で不慮の災害の可能性	観測強化。社会に注意を呼掛け
3（橙）	既存の火口で小～中噴火が発生か可能性大	火口の周辺で災害が発生する可能性	活動推移の評価。社会に警戒を呼掛け
4（赤）	火山周辺に影響の及ぶ中～大噴火が発生か可能性大	居住地などで災害が発生する可能性	活動推移の評価。社会に厳重な警戒を呼掛け

* 火山の状態、災害の危険性、監視観測体制に対応した具体的な内容は、火山毎に個々に定める。

* 十年程度の期間でみて、火山性地震の発生など、火山の活動を示す何らかの兆候が知られている場合には、平常時のレベルを1とする。

* レベル2の判定基準には、群発地震や火山性微動の発生、火山体の膨張、地熱や火山ガスの異常などが、一般に使われる。

* レベル3と4の判定には、噴火の規模よりも、予測される災害の規模や、深刻な影響が及びうる範囲を重視する。

* レベル2，3，4は、惰性で長期間保持することを避けるために、有効期間など、それを下げる基準をできるだけ明確に決めておく。

* ほとんど社会的影響がない軽微な噴火の発生は低いレベルに含めることがある。

* 活動レベルは、基本的にはその時点の火山の状態に基づくが、可能な限り将来を見通して、不必要なレベルの変更を避けるように務める。

* 活動レベルを上げ下げする場合には、同時に適当な火山情報を発表して、変更の理由や意味を説明することを原則とする。